

神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

# 「高千穂郷」通信

平成24年1月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.109



高千穂町消防出初式



日之影町消防始式



五ヶ瀬町消防始式



1月5日、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町でそれぞれ新春恒例の消防出初（始）式が一斉に行われました。

分列行進、通常点検、消防車両の発水試験などが行われ、厳しい寒さの中ではありますが、団員のみなさんは凛とした姿勢ときびきびとした動きで臨まれていました。

また、消防功労者に対する表彰や、団員である夫を家庭で支えてこられた奥様に対する内助の功感謝状の贈呈が行われ、その功績が讃えられました。

消防団は、「自らの郷土は自ら守る」という気概のもと、本業を持ちながらひとたび火事などの災害が発生すれば真っ先に現場に駆けつけ、住民のかけがえのない生命と貴重な財産を守る頼もしい存在です。

危険と隣り合わせの過酷な仕事ですが、どうぞこれからも郷土の安心・安全のためによりしくお願いいたします！！

## 県森連新春初市



式典の様子

1月6日、宮崎県森林組合連合会の高千穂及び五ヶ瀬林産物流通センターで**新春初市**が開催されました。

初市には、江藤衆議院議員、道休衆議院議員をはじめ、多数の来賓が招かれ、式典が盛大に執り行われました。式典では、昨年多くの取引があった**買方業者15社**と**出荷業者10社**に**感謝状**が贈られました。

式典後の**競り**には、県内外から**30社以上**の**製材関係者**などが参加し、高千穂

・五ヶ瀬の両センター合わせて**約4,000㎡**の**スギ・ヒノキ材**が取引されました。

売り子は、両国会議員のほか、日之影町長や興梶支庁長などが務めましたが、平均単価は、**昨年の初市を600円上回る11,280円**となり、**上々の滑り出し**となりました。

この勢いを保ちながら、**2012年**が**林業界にとって明るい年**となるよう願っています。



競りの様子～売り子となった興梶支庁長

## 生活介護事業所「一歩」



生活介護事業所「一歩」

高千穂町下野の**生活介護事業所「一歩」**では、主に知的障がいのある方が通所しており、刺子（縫い物）やしおり等の生産活動や調理実習などの生活体験を通じ**身体機能や生活能力の向上に必要**な**援助**を行っています。

事業所を運営するNPO法人一歩会は、平成23年4月1日に障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービスである**生活介護事業の指定**を受け、**職員体制や通所生へのサービス提供面**で**更なる充実**が図られました。

今後、**郡内唯一の生活介護事業所**として、障がいがある方の地域での安定した生活に向けた、より一層の支援が期待されます。



地域のイベントにも積極的に参加し、活動の場・交流の場を広げています。

## 消防防災訓練・救命講習



消防防災訓練～消火器の実技指導

1月18日、西臼杵支庁において**消防防災訓練**を実施しました。庁舎2階給湯室から出火したという想定で、**通報、初期消火、職員の避難、負傷者の救助**などの訓練を行い、**みんな真剣な表情**で**現実さながら**に取り組みました。

また、**高千穂町総務課消防防災係**より、**消火器**や**消火栓**を使用した**実技指導**をしていただきました。

引き続き**救命講習**も行われました。**人工呼吸**や**心臓マッサージ**、**AED使用方法**などをていねいに指導いただき、勉強させていただきました。

私たちには消防団という頼もしい存在もありますが、**私たち一人一人**が**災害などに日常から備えておくことが大切**だと強く感じた一日でした。



救命講習～心臓マッサージ

## 西臼杵地区SAP冬期大会

12月13日、JA高千穂地区ゆめゆめプラザTACにおいて、SAP活動成果発表の場である冬期大会が開催されました。

今回は5名の会員が日頃の研究成果の発表や今後の農業に対する意見発表を行いました。審査の結果、プロジェクトの部で田辺貴紀さん（畜産）、甲斐鉄也さん（茶）が、意見発表の部で小迫幸男さん（野菜）がそれぞれ最優秀賞を受賞しました。

3名は1月27日に開催された県大会に西臼杵地区代表として出場され、田辺さん、甲斐さんが優秀賞を受賞しました。



田辺貴紀さん



甲斐鉄也さん



小迫幸男さん

## 西臼杵地区認定農業者研修会

1月25日、西臼杵農業改良普及センターにおいて、西臼杵地区認定農業者協議会(会員数450名)会員の資質向上の一環として研修会が開催されました。

今回は、地域交流誌「みちくさ」編集長で宮崎県観光審議会委員である(株)アイロード代表取締役の福永栄子(ふくなが・えいこ)さんが「暮らしの中の旅」という演題で講演され、認定農業者や農業・観光関係者のみなさん約60名が魅力的な地域づくりやエコツーリズムについて学びました。



研修会の様子

福永さんは、「南・中九州には昔ながらの日本人が大事にしてきた生活文化が根付いており、地元の人には当たり前風景にこそ、魅力がある。」、「今や団体旅行は5%しかない。現代人の旅は日常化しており、食や自然とふれあう旅の形が求められている。」、「交流人口を増やすことが大事である。」と述べられました。



講演される福永栄子さん

## 夜神楽に行ってきました！

1月14日～15日、五ヶ瀬町で二つの夜神楽が行われましたが、明け方からおじゃましました。

まず、桑野内神社夜神楽です。ここでは、県から五ヶ瀬町地域振興課に駐在員として派遣されている“みたにん”こと三谷さんもほしゃとして参加しており、またオレンジキャップでおなじみの中山間盛り上げ隊員のみなさんもお手伝いでお祭りを盛り上げていらっしゃいました。クライマックスの柴引、鉦女、戸取、舞開の舞までじっくり鑑賞でき、大満足の夜神楽鑑賞となりました。

次に、古戸野神社夜神楽に向かいました。すでに夜が明けており、最後の舞「火の前」が舞われていました。アットホームな雰囲気、そのとき見ていた人は全員、神庭から躍り出たほしゃどんから顔に炭を塗られてしまいました。炭をつけてもらおうと、その年は無病息災で過ごせるそうです。今年はいいいことがありそうです。



桑野内神社夜神楽



古戸野神社夜神楽

## オリジナル日本酒「舞」完成、知事に贈呈しました！

12月28日、高千穂地区酒米生産組合（組合長：富高芳章）と関係機関が、地元の酒米「はなかがら」を100%使用したオリジナル純米酒「舞」を知事に贈呈しました。

純米酒「舞」は、平成21年に同組合、JA、高千穂町等が、高千穂神楽をイメージした純米酒の開発を計画し、3年間の検討・試験を経て、延岡市の千徳酒造の製造により完成したもので、平成23年12月22日に町内限定で発売されました。



知事室にて「舞」の贈呈

同組合では、20年以上前から酒米を栽培し、現在は組合員27名で、作付面積は約12haとなっています。自分たちの作った酒米で日本酒を作りたいという長年の思いがあり、今回の発売となったものです。

芳醇な香りとすっきりとした飲み口が特徴で、神楽で見られる「御幣（ごへい）」をデザインしたラベルの1升瓶と、お土産に手軽な500ミリボトルがあります。

酒米の生産拡大に、また、観光地高千穂の新たなお土産として期待されております。

## 「どぶろく 千穂まいり」の贈呈

12月28日、高千穂町秋元集落にある「民宿まろうど」の飯干淳志さんから興梠支庁長へ「どぶろく 千穂まいり」の贈呈がありました。

昨年3月に高千穂町が国の構造改革特区（どぶろく特区）に認定されたのを受け、飯干さんが10月に酒類製造免許を取得され、民宿のスタッフのみなさんで試作を重ねながら製品化したものです。

「どぶろく 千穂まいり」は、秋元神社御神水源の湧水と秋元集落の棚田で育てたヒノヒカリで醸した、アルコール度数が低めでほんのり甘いやさしい味わいが特徴のお酒で、女性にも飲みやすく仕上げられています。



「千穂まいり」の贈呈

## 編集後記

寒い日が続きます。仕事から帰る頃には特に手先足先が冷たくかじかんで、お風呂にはいると、ピリピリとしびれる感じになります。

ところで、今月号ではお酒の話題が2つありました。「舞」と「千穂まいり」です。全く異なる個性ですが、共通点は、高千穂をモチーフに高千穂のお米で醸したこと。そして、いずれも大変結構なお味でした。（眞）

\*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

## ◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)

## 【お知らせ】

### “農家民泊”新規開業者支援について

フォレストピア広域観光協議会（会長：五ヶ瀬町長 飯干辰己）では、修学旅行の学生の受入を目指した農家民泊の新規開業者への支援を実施します。

2年後の平成25年度から高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村の5町村で民泊型の修学旅行の受入をスタートします。

5町村の農業や林業、歴史・文化や暮らしにふれることのできる農家民泊は修学旅行で訪れる学生にとってより良い学びの場となるだけでなく、受け入れる家庭や地域がもっと元気になる原動力となることでしょう。

今回の支援は「農家民泊って何？」というところから、農家民泊を始めるにあたっての手続きや情報提供、安全管理や農泊予約練習のサポートなどを予定しています。

農家民泊を始めてみたい方や少しでも興味のある方には農家民泊についての資料を事務局よりお送りします（無料）ので、各町の連絡先にお電話ください。

## <お問い合わせ先>

高千穂町役場企画観光課 0982-73-1212

「農家民泊担当者」 甲斐

日之影町役場地域振興課 0982-87-3910

「農家民泊担当者」 甲斐

五ヶ瀬町役場地域振興課 0982-82-1717

「農家民泊担当者」 新田

